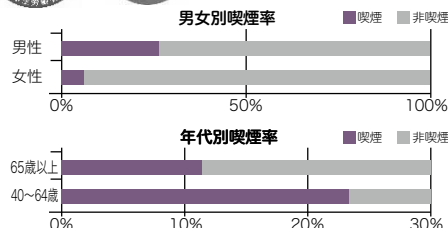


喫煙について



平成30年度あま市国民健康保険特定健診の集計結果によると「現在タバコを習慣的に吸っている」と回答された方は、男性26.4%、女性6.2%で、男性は女性の4倍以上という結果でした。また、年代別にみると、「吸っている」と回答された方は、65歳以上11.4%、40～64歳23.4%であり、若い年代の方が喫煙率が高いという結果でした。(グラフ参照)



2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに議論が進んだ受動喫煙対策。健康増進法が改正され、市も令和元年7月1日から庁舎をはじめすべての公共施設を敷地内禁煙としました。

受動喫煙とは、タバコの火のついた先から立ち上る煙(副流煙)を、自分の意思とは関係なく吸い込んでしまうことをいい、タバコを吸う本人が直接吸い込む煙(主流煙)よりも有害物質が多く含まれています。特に子どもが受動喫煙から受ける健康被害は大人以上に深刻です。

【受動喫煙が関与している病気(代表的なもの)】

呼吸器疾患、脳卒中、虚血性心疾患、がん、乳児突然死症候群(SIDC)、糖尿病、メタボリックシンドローム、精神疾患(うつ)、認知機能低下



受動喫煙防止シンボルマーク

禁煙は今始めても十分に効果があります。ご自身や周囲の大切な人のために、健康増進法の改正をきっかけに、禁煙に挑戦してみたいはいかがでしょうか？

【禁煙を考えている方へのサポート】

①禁煙外来に行く

要件を満たす場合は、禁煙支援医療機関で保険適用でサポートを受けることができます。標準禁煙治療プログラムは12週間の間に5回診察があり、費用は2万円程度(飲み薬で治療し保険適用3割自己負担の場合)です。

②薬局へ行く

禁煙サポート薬局で薬剤師が約3か月間、禁煙のコツをアドバイスするほか、たばこに関する不安や疑問等、さまざまな相談にお答えします。相談は無料ですが、禁煙補助剤(ニコチンパッチ、ニコチンガム等)の購入は実費になります。

【禁煙外来や薬局でのサポートを希望される方は次のURLで実施機関を調べることができます】

◆禁煙支援医療サポート機関データベース◆

web <https://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/tobacco/supporters/supporters.html>

問合先 保険医療課 ☎444・3168 FAX443・3555

海部医療圏地域住民普及啓発講演会

海部医療圏(津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村)

医療や介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域や自宅で安心して生活するには何が必要かなどについて考える「普及啓発講演会」を開催します。海部医療圏7市町村による共催事業です。がんで妻を亡くし、自身もがんを経験した日本対がん協会会長の垣添忠生先生をお招きし、講演会やシンポジウムを行います。申込不要、入場は無料です。ぜひ、ご来場ください。

日時 2月9日(日)午後2時～4時 場所 大治町総合福祉センター希望の家

定員 200人

内容 第1部 講演:午後2時～3時

「人はどう生き、どう死ぬか」 講師:日本対がん協会会長 垣添 忠生 氏

第2部 シンポジウム:午後3時～4時

「家での看取りの経験」

問合先 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)(津島市役所神守支所内)

☎0567・58・5989